

令和9年度
短時間児

園児募集案内



習志野市立向山こども園

〒275-0026 習志野市谷津2丁目16番36号

☎047-451-1919

習志野市のこども園では・・・

幼保連携型認定こども園は、幼稚園機能と保育所機能を兼ね備えています。3・4・5歳児は、短時間児と長時間児の合同保育を行います。

一人一人のこどもが、幼児期にふさわしい環境の中で、保育教諭や保護者、地域の人々に見守られ、心はずむ楽しい園生活を送りながら、健康で調和のとれた豊かな心を備えた人間育成を目指しています。

学校教育の基礎は幼児教育が重要

習志野市において、小学校入学前までのこどもは、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領、保育所保育指針に基づいた教育・保育を受け、学校教育の基礎を身に付けていきます。

「遊び」は、重要な学習です。

こども園は、遊びを大切にした教育を行っています。

幼児期のうちに思いきり遊び夢中になることで、その後の学びや創造性が豊かになると言われています。「遊び」は、国語や算数などと同じようにこどもの将来にとって重要な学習なのです。そのため、こども園では教科書を使った小学校以降の教育とは異なる、「遊び」中心の活動による教育を行っています。

遊ぶことって、そんなに大切？

パンは1個
100円でーす。



お花が3本
ですね。



小学校以降の学習の基盤は乳幼児期に作られます。

遊び中心の生活だと、小学校に行って困らないかしら？

こども園の「遊び」と小学校の「国語」や「算数」などは、一見何のつながりもないように見えるかも知れません。「遊び」は、こどもが自分から進んで物や人に関わり自分の力を発揮することで、生きる力の基礎とも言えるべき“生きる喜び”を味わうことができます。保育教諭が意図的・計画的につくった環境の中で、こどもが自分で選び、自分の力で取り組み、自分らしさを発揮することで、まだ見ぬ世界に対する好奇心が育まれ、興味のあることを繰り返し試し考えることで知識となり、自分から学ぼうとする学びの基礎が形成されるのです。

こども園で様々な遊びを通して、人と関われるようになったり、言葉が豊かになったり、自然の美しさ・不思議さなどに気付いたりすることで、小学校以降の学習の基盤をつくっているのです。

道徳性の芽生えを培います。

友達関係を通して学んでいきます。

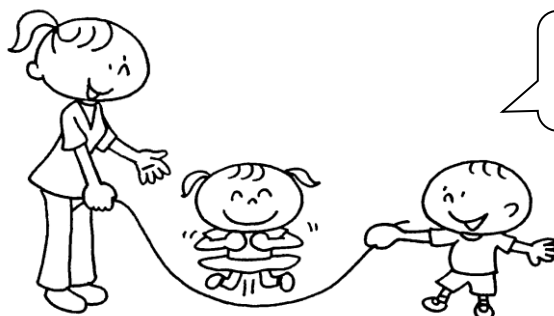
こども園では、良いことや悪いことの区別、他者への思いやりや社会性を育てるなど、心の教育に力を入れています。自己主張や友達と折り合いをつける体験を重ねながら、友達関係が生まれ深まっています。一人一人のこどもをよく理解し、こどもが自ら気づき、考えることを大切にしながら、集団生活を通して道徳性の芽生えを培うように指導しています。

豊かな遊びは、意図的な計画から生まれます。

公園で遊ばせることとどこが違うの？

こどもにとって意味のある「遊び」は、こどもをただ遊ばせておいてもなかなか生まれません。こども園では、保育教諭があらかじめ一人一人の発達に必要な経験を見通して意図的な計画を立てるとともに、こどもの発達を見ながら、継続的な指導を行うようにしています。この指導計画や経過を踏まえ、こどもに適切な援助を行い、環境を工夫して設定し、意味のある「遊び」が生まれるようにしています。また、指導計画の立案や日々のこどもへの関わりについて、丁寧に話し合ったり、研究会や専門講座に参加したりして常に専門性を高めています。

1・2・3……
…22・23



次は、
僕の番だよ

こども園は、子育てを支援します。

【預かり保育を実施します】

保護者の希望に応じて降園後在園児を預かります。

預かり保育をすることで、こどもの心身の健

全な発達を図るとともに、保護者の子育てを支援しています。(料金等、詳細については8ページ参照)

→ こんな時に、ご利用ください。

- ・ 働きたい
- ・ 小学校の授業参観に参加したい
- ・ 自分の自由な時間が欲しい
- ・ 病院へ行きたい など

預かり保育は、保育時間を延長してもらえるから安心！

【向山こども園こどもセンター】

こどもセンターでは、家庭で子育てしている親子が安心して遊べる場、保護者同士の交流の場を提供しています。また、子育ての相談に応じたり、いろいろな行事を催したりして、地域の子育て支援の拠点としての役割を果たします。

家庭で子育てする皆様に
応援します。

向山こども園では

3・4・5歳児は、短時間児と長時間児の合同保育を行っています。3・4・5歳児は2階で生活します。

長時間児の0～2歳児のお子様は1階で生活します。

地域にあるこども園として、園児や保護者・小中学校・近隣施設や豊かな自然との温かな触れ合いを通して、乳幼児期にふさわしい、心はずむ楽しい生活を送ります。

向山こども園の教育・保育目標

- ・ 「げんきいっぱい」 よく食べ、よく遊び、自分からやってみようとするこども
- ・ 「えがおいっぱい」 めあてをもち、工夫して遊べるこども
- ・ 「やさしさいっぱい」 相手の気持ちがわかり、楽しく遊べるこども

こども園の生活の中で こどもたちは このような経験をします

一人でできるよ！！

挨拶や身の回りの始末（準備や片付けなど）を園とご家庭とで協力しながら、日々の繰り返しの
中で身につけていきます。

友達いっぱい！！

楽しいこと、嬉しいこと、悲しいこと、辛いこと。
一緒に過ごす友達や仲良しの友達ができれば、どの
ような年齢になっても、どこに行っても、新たな友
達との出会いに期待をもてるようになります。

自分の思いや考えを言ったり、人の話を聞いたり
する楽しさを体験します。

小学校との交流

向山小学校の1年生と一緒に遊ぶことで憧れの
気持ちや就学への期待を高めます。こどもだけでは
なく、保育教諭と小学校教諭が連携を密にし、小学
生になる接続期を大切にしています。

体力をつけるぞ！！

足腰を強くする基礎体力を、幼児期に
身に付けることは大切です。園内でもい
ろいろな運動をします。

走る、跳ぶ、ころがる、ぶらさがる等体
全体を使って遊ぶと気持ちよい！汗をか
いた後はスッキリする！！という感覚を
味わいます。

遊びから社会性を学びます

「入れて！」「貸して！」

「いいよ、一緒に使おう」

遊びを通して、自分とは違う考えのある
こと、相手に対する優しさや思いやりの気
持ちを学んでいきます。

運動会、誕生会、発表会などみんなと一
緒に行う楽しさや喜びを味わうと共に、人
に迷惑をかけないことや、時には我慢が必
要なことなども学んでいきます。

地域の人たちと顔見知り

「おはよう！」「こんにちわ！」

地域の方に気持ちよく挨拶できることは、これから先も、ずっとずつ
と大切です。異世代との交流を大切にしています。

一人一人が意欲的に遊べるこどもに！

様々な遊びに繰り返し取り組む過程を大切に、あきらめない気持ちや、できるようになった
満足感を味わえるようにしていきます。また、遊びの中から起こるこどもの気付きや友達とのト
ラブルなどを取り上げてクラスみんなで十分話し合うことで、規範意識や友達への思いやりの気
持ちを育てます。

1 学級数

3歳児	(2学級)
4歳児	(2学級)
5歳児	(2学級)

募 集 定 員
3歳短時間児・・・20名
4歳短時間児・・・30名
5歳短時間児・・・30名
令和8年9月末現在

2 教育時間

登園時間 8：50～9：00

*多少変更になることがあります。

学年 曜日	3歳短時間児		4・5歳短時間児
月～金	入園式～ 5月中旬	9：00～ 11：00	9：00～14：00
	5月中旬 ～10月	9：00～ 13：00	
	11月～ 12月	9：00～ 13：30	
	1月以降	9：00～ 13：45	

3 3歳児の保育の流れ

時間	短時間児		長時間児
	通常保育	預かり保育	
7:00	・登園(保護者と一緒に保育室に行く) ・所持品の始末をする		・ 随時登園 ・ 幼児組の異年齢の友達と過ごす ・ 保育教諭と一緒に自分の保育室に移動する。 ・ 所持品の始末をする
8:30			
8:50			
9:00			
11:30	<短時間児、長時間児合同保育> ・自ら選ぶ遊びをする 運動的な遊び 表現活動(絵・制作・歌・楽器・劇ごっこなど) 自然体験(草花遊び・木の実拾い・散歩など) ・学級全体で活動に取り組む ・行事への参加(運動会・お楽しみ会など)		
	・片付け ・給食時の活動をする 汚れていたら衣服を着替える 食事 片付け、歯磨きをする		
12:30	・降園時の活動をする 絵本、紙芝居を見る 保育教諭の話を聞く 身支度をする 挨拶をする		・午睡
13:00	・降園 ・預かり保育利用のこどもは 長時間児と一緒に午睡 ・おやつ ・自ら選ぶ遊びをする ・降園の準備 ・預かり保育終了		
15:30			・おやつ ・自ら選ぶ遊びをする
16:30			・随時降園
17:00			(16:30以降 時間外保育) 自ら選ぶ遊びをする 異年齢の友達と一緒に過ごす
19:00			・降園終了

4 4・5歳児の保育の流れ

時間	短時間児		長時間児
	通常保育	預かり保育	
7:00	・登園(各自の保育室に行く) ・所持品の始末をする		・ 随時登園 ・ 幼児組で異年齢の友達と過ごす ・ 保育教諭と一緒に自分の保育室に移動する ・ 所持品の始末をする
8:30			
8:50			
9:00			
＜短時間児、長時間児合同保育＞			
11:30	・自ら選ぶ遊びをする 運動的な遊び 表現活動(絵・制作・歌・楽器・劇遊びなど) 自然体験(草花遊び・木の実拾い・散歩など) ・学級全体で活動に取り組む ・行事への参加(運動会・発表会・地域行事など)		
11:40			
12:30			
14:00	・降園	・預かり保育の部屋に移動 ・静的な遊びをする ・戸外遊びをする ・おやつ ・自ら選ぶ遊びをする	・午睡をする部屋に移動(4歳児) ・午睡(4歳児)
15:30			・おやつ ・自ら選ぶ遊びをする
16:30		・降園の準備 ・随時降園	・随時降園 (16:30以降 時間外保育)
17:00		・預かり保育終了	自ら選ぶ遊びをする 異年齢の友達と一緒に過ごす
19:00			・降園終了

5 預かり保育 （時間を延長して保育を行う）

目 的	幼児の心身の健全な発達を図るとともに、保護者の子育てを支援
対 象	当該在園児
実施期間	①～④を除く日 ① 土曜、日曜、祝日 ② 年末年始（12月29日～1月3日） ③ 臨時休業日 ④ その他市長が指定した日
保育時間	・ 降園後から午後5時 ・ 長期休業期間は、別途時間設定あり
申 請	・ 利用日の3日前まで（土日祝日を含まない）に、利用申込書の提出をする
費 用	1回…490円 別途おやつ代がかかります。（50円） ※長期休業中は 半日、一日（別途料金設定あり） （別途、給食費、おやつ代をいただきます。） ※翌月末日頃に給食費と同一口座より引き落としとなります。

6 通園方法及び送迎について

徒歩通園または、自転車通園を原則とします。幼児にとって歩くことは健康面、生活体験面、思考面、発達面から考えても大切なことです。登園、降園は最も安全な方法で、家庭の責任においてお願いします。

なお、駐車場の利用は、長時間児を対象にしています。短時間児の方は、車を利用したの通園はできません。

7 必要経費（令和8年度）

入園料

不要

保育料

保育料は無償(0円)です。

給食費

1食290円

* 以下に該当する方は、給食費が免除され、無償(0円)となります。

- ・年収360万円未満世帯
- ・第3子以降～小学校3学年終了前のこどもの数で3人目以降
- ・市町村民税を課されない者に準ずる者

教材費、冷暖房費 無 料

日本スポーツ振興センター災害共済掛金

保護者からは210円徴収 他は習志野市が負担します。

*その他、諸費用が発生する場合があります。

※ 給食の取り消しについて

病気や入院などで長期にこども園を欠席する場合、給食の取り消しができます。取り消しを希望される場合は、園長にその事由を申し出てください。

取り消しの手続きは、土日祝日を含まない3日前までとなります。

また、給食の開始にも同様の日数が必要です。登園できる日が決まったら直ちにご連絡ください。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

給食費、預かり保育料は、各家庭で振り込み手続きをした銀行口座より、引き落とされます。

日本スポーツ振興センター掛け金は、現金で集金させていただきます。

8 年間行事（令和8年度）

★がついているものは、保護者の参加行事です。

月	主な行事	月	主な行事	月	主な行事
4月	始業式 入園式★ 3歳児保護者懇談会★ 4,5歳短時間児給食開始	5月	3歳短時間児給食開始 2,4,5歳児保育参観懇談会★ 健康診断 ごみゼロ運動	6月	0歳児ビデオ参観懇談会★ 1歳児保育参観懇談会★ 3歳児保育参観★
7月	4,5歳児バラの街♪音楽会★ 幼児組個人面談★ 終業式	8月		9月	始業式 引き渡し訓練★ 十五夜
10月	3,4,5歳児運動会★ 5歳児鹿野山自然体験活動 0,1,2歳児親子でわくわくデー★ 5歳児むし歯予防指導	11月	5歳児芋ほり 4歳児バス遠足	12月	5歳児生活発表会★ 幼児組希望個人面談★ お楽しみ会 もちつき 終業式
1月	始業式 鏡開き 交通安全教室 4歳児生活発表会★	2月	豆まき 3歳児保育参観★ 新入園児一日入園 2歳児保育参観・進級説明会★ 0,1歳児ビデオ参観★	3月	幼児お別れ会 乳児お楽しみ会 修了証書授与式★ 3・4歳児修了式

《毎月行う行事》 誕生会（4, 5歳児）・避難訓練（火災, 地震）・保健指導・食育指導・健康教育

《その他》 幼保小交流会（5歳児, 向山小1年生, 近隣保育所）

幼小交流（4, 5歳児, 向山小4, 5年生）

幼児組体育指導（年3回）・幼児組おはなし会（年3回）

子育てふれあい広場（年6回）・乳児身体計測（毎月）・幼児身体計測（隔月）

不審者侵入想定避難訓練（年3回）

※3歳児誕生会は、お誕生日当日に各クラスでお祝いします。

向山こども園では、皆様のご入園を心から
お待ちしております。

かけがえのない幼児期に、一人一人のお子様のよさが
育まれるように、心をこめて保育にあたります。

保護者の方とお子様と共に歩み、幼児期にふさわしい
毎日を、一緒に楽しく過ごしていきましょう。